

## 年 間 授 業 計 画

1 科目名	古典A	2 履修学年	2学年
3 必修・選択	必修	4 履修単位	2単位
5 教科書	『高等学校 改訂版 標準古典A』(第一学習社)		
6 副教材等	『古典文法要点整理ノート』(数研出版)、『さくらさく古文単語』(浜島書店)、『トータルサポート 新国語便覧』(大修館書店)		
7 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読んで物の見方・感じ方・考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</li> <li>・文語のきまり・訓読のきまりを理解し、平易な古文・漢文が読めるようになる。</li> </ul>		
8 年間授業計画			
月	学 習 単 元	学 習 事 項 等	
4	古文 古典文法既習事項の確認 説話『十訓抄』「文字一つの返し」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> <li>・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。</li> </ul>	
5	古文 『竹取物語』「かぐや姫の昇天」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔話としてなじみのある作品を読んで、古文に親しむ。</li> <li>・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。</li> </ul>	
6	古文 『伊勢物語』「初冠」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝記物語と歌物語の違いを考えさせる。</li> <li>・歌物語の各種章段における和歌の役割と位置づけを理解させる。</li> </ul>	
7	古文 古典文法 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞の整理、確認</li> <li>・文章中の助動詞について理解し、判別、口語訳できるようにする。</li> </ul>	
9	古文 『方丈記』「ゆく川の流れ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者のものの見方、考え方の特色を理解させる。</li> <li>・時代を超えて現代においても人々が日常遭遇する課題があることを読み取る。</li> </ul>	
10	古文 『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えたこと、感じたことを自由な形式で叙述した随筆文学の特色について考える。</li> <li>・当時の生活や文化、作者のものの見方や考え方について理解する。</li> </ul>	
11	漢文 故事・寓話「画竜点睛」「推敲」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文訓読の方法を正確に理解し、繰り返し読むことで漢文の調子に慣れさせる。</li> <li>・故事成語の由来を正確に理解させる。</li> </ul>	
12	漢文 近体の詩「絶句」「峨眉山月歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近体の詩について、詩形・押韻・構成などのきまりを理解する。</li> <li>・漢文を読み味わい読解力を高め豊かな人間性を養う。</li> </ul>	
1	古文 『源氏物語』「光る君誕生」「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の行動や心情を展開に即してとらえ、物語を深く味わう。</li> <li>・長編物語全体の輪郭を理解する。</li> </ul>	
2	同上	同上	
3	漢文 諸家の思想 孟子「民父母」 老子「柔弱」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孟子の「性善」「王道」の説を理解する。</li> <li>・荘子の考え方を知って、儒家の考え方と比較してみる。</li> </ul>	
9 評価の観点・方法			
定期考査の点数を中心に、提出物、ノート、小テスト、授業の取り組み等を総合して評価する。			
10 学習上の留意点			
特になし。			